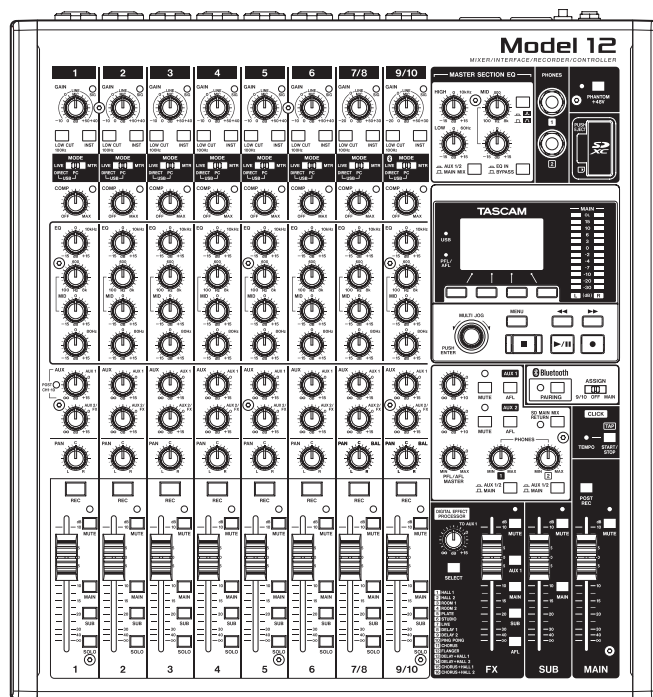


TASCAM

Model 12

Multitrack Recording Console

Model 12 DAWコントロールモードマニュアル



はじめに

目次

はじめに	2
概要	2
商標および著作権に関して	2
Model 12本体の操作	3
本体の準備	3
パソコンと接続する	3
DAWコントロールモードを開始する	3
DAWコントロールモードを終了する	3
MTR/USB SEND POINT 画面の設定	4
DAWコントロールモード中に操作可能な本体操作子	5
DAWコントロールモード中のUSB音声の入出力	6
各種DAWアプリケーションの設定	7
Live	7
コントロールできる操作子	8
Pro Tools	9
コントロールできる操作子	9
Cubase	10
コントロールできる操作子	11
Cakewalk	12
コントロールできる操作子	13
Logic Pro	14
コントロールできる操作子	15
DP (Digital Performer)	16
コントロールできる操作子	16
Cubasis	17
コントロールできる操作子	17
Studio One	18
コントロールできる操作子	19
REAPER	20
コントロールできる操作子	21
MIDIインプリメンテーションチャート	22
MIDIインプリメンテーションチャート DAW Controlポート	22

概要

Model 12はDAWコントロール機能を備えており、DAWコントロールモードに設定することで、DAWアプリケーションの基本的な動作（フェーダー、ミュート、PAN、ソロ、RECファンクション、PLAY / STOPなどのトランスポート操作、など）をModel 12本体の操作子を使って操作することができます。

Mackie Control (MCU) およびHUIプロトコルのエミュレーションに対応しているため、主要なDAWアプリケーション（Cubase、Digital Performer、Logic、Live、Pro Tools、Cakewalkなど）の操作が可能です。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- Apple and Mac are trademarks of Apple Inc. in the United States and other countries.
- Avid and Pro Tools are either registered trademarks or trademarks of Avid Technology, Inc. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.
- Cubase are registered trademarks of Steinberg Media Technologies GmbH.
- Cakewalk is a registered trademark are trademarks of BandLab Technologies Inc.
- MIDIは、一般社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

本体の準備

DAWコントロールモード中の音声について

DAWコントロールモード中は、Model 12本体のチャンネル1-2に入力された音声のみ聴くことができます。

目的に応じて、以下のように設定してください。

- DAWのマスター音声を本機で聴きながらDAWコントロールを行う場合は、Model 12本体のチャンネル1-2のMODEスイッチを「PC」に設定し、DAWのマスター音声の出力先を本機の1/2ch出力に設定します。
- MTR/USB SEND POINT 画面の設定を「PRE COMP（初期値）」以外に設定し、本機のチャンネル1-2のLIVE入力をパソコンに送りたい場合は、MODEスイッチを「LIVE」に設定してください（この場合、DAWの音声を聴くことはできません）。

メモ

パソコンへ送られる音声は、MTR/USB SEND POINT 画面の設定により状態が変わります。詳しくは、4ページ「MTR/USB SEND POINT 画面の設定」をご参照ください。

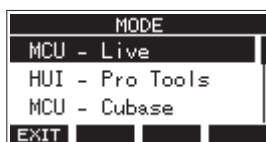
パソコンと接続する

Model 12の取扱説明書「第3章 準備」の「パソコンと接続する」を参照して、パソコンと接続してください。

また、第12章「USBオーディオインターフェイス」を参照し、設定を行ってください。

DAWコントロールモードを開始する

1. Model 12本体のチャンネル1-2のMODEスイッチを、使用用途に合わせて設定します。
2. Model 12本体のレコーダーが停止中に MENU 画面の DAW CONTROLLER 項目を選択し、MODE 画面を表示します。操作方法については、取扱説明書「第2章 各部の名称と働き」の「メニュー操作の手順」を参照ください。



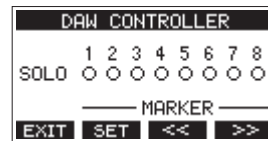
3. お使いのDAWで使用するコントロールモードを選択します。設定の詳細は、お使いのDAWアプリケーションの取扱説明書をご参照ください。
 選択肢：MCU - Live、HUI - Pro Tools、MCU - Cubase、MCU - Cakewalk、MCU - Logic、MCU - DP、MCU - Cubasis、MCU - Studio One、MCU - Reaper
4. MULTI JOGダイヤルを押します。確認のメッセージが表示されます。



メモ

F1 **NO** ボタンを押すと、MODE 画面に戻ります。

5. F4 **YES** ボタンを押します。DAW CONTROLLER 画面が表示され、DAW操作が可能になります。



メモ

- DAWとの接続直後やDAW側で各種設定を変更した場合、DAWの設定とModel 12本体のボタン/つまみ/フェーダーの状態や位置が一致しない状態となります。その場合は、DAWの設定をModel 12本体の設定に合わせるか、Model 12本体のボタン/つまみ/フェーダーを操作してDAWの設定と一致させてください。
- DAWコントロールモードのまま電源を切ると、次回起動時もDAWコントロールモードで開始されます。通常モードで使用する場合はF1 **EXIT** ボタンでDAWコントロールモードを終了してください。

DAWコントロールモードを終了する

1. F1 **EXIT** ボタンを押すと、以下のメッセージを表示します。



2. F4 **YES** ボタンをして、DAWコントロールを終了します。

MTR/USB SEND POINT 画面の設定

Model 12本体のMODEスイッチの設定、および MTR/USB SEND POINT 画面の設定により、USBへ送られる音声が変わります。MTR/USB SEND POINT 画面の設定については、取扱説明書「第9章 さまざまな機能」の「ミキサー機能」の「各チャンネルの録音信号の取り出し位置を選択する」をご参照ください。

MTR/USB SEND POINT	COMP	EQ	MODEスイッチ	パソコンへ送られる音声
PRE COMP	無効	無効	LIVE	入力端子からの音声が送られます。
			PC	入力端子からの音声が送られます。
			MTR	入力端子からの音声が送られます。
POST COMP	有効	無効	LIVE	入力端子からの音声が送られます。
			PC	パソコンからの音声が送られます。
			MTR	音声は送られません。
POST EQ	有効	有効	LIVE	入力端子からの音声が送られます。
			PC	パソコンからの音声が送られます。
			MTR	音声は送られません。

メモ

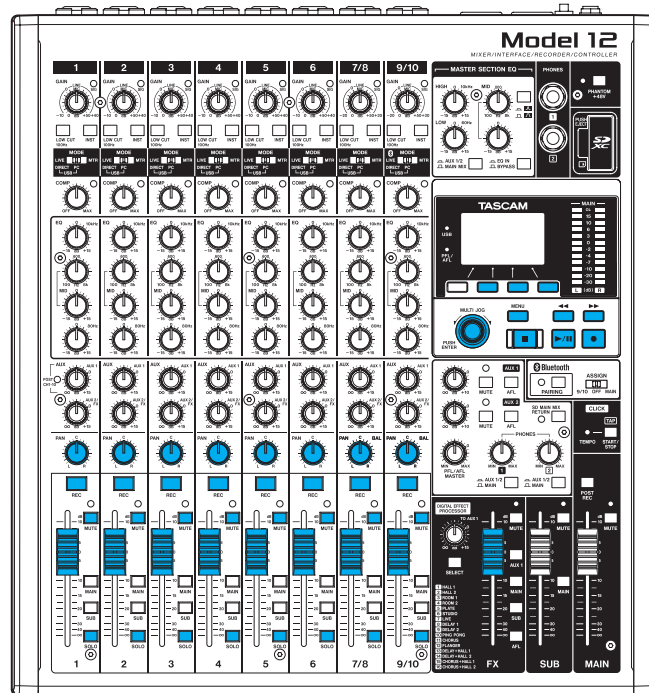
パソコンからの音声には、上記の設定に関係なくCOMP / EQは有効です。

DAWコントロールモード中に操作可能な本体操作子

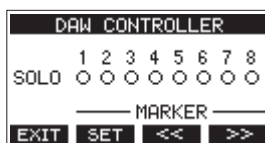
DAWコントロールモード中に操作可能なModel 12本体の操作子は、以下の通りです。

- 下図の青色で示したつまみ／スイッチ／フェーダーの操作が有効

FXフェーダー	DAWのマスターフェーダーに対応します。
MULTI JOGダイヤル	ロケート機能に対応します。
ファンクションボタン	DAW CONTROLLER 画面の表示内容によって、動作が異なります。 MENUボタンを押すと、ファンクションボタンの機能を切り換えることができます。



DAW CONTROLLER 画面・MARKER



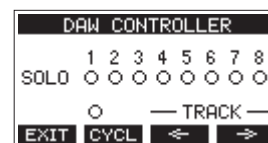
- **F2 SET** ボタンを押すと、マーカーセットボタンとして機能します。
- **F3 <<** ボタンまたは**F4 >>** ボタンを押すと、マーカー移動ボタンとして機能します。

メモ

DAW CONTROLLER 画面の SOLO 項目に、DAWアプリケーションのSOLOスイッチの状態を表示します。

- : SOLOスイッチがオフ
- : SOLOスイッチがオン

DAW CONTROLLER 画面・TRACK



- **F2 CYCL** ボタンを押すと、DAWのリピート機能を切り換えます。
- **F3 <** ボタンまたは**F4 >** ボタンを押すと、操作対象トラックを移動します。

注意

操作対象トラックを切り換えるとDAWの設定とModel 12本体のボタン／つまみ／フェーダーの状態や位置が一致しない状態となります。その場合はDAWの設定をModel 12本体の設定に合わせるか、Model 12本体のボタン／つまみ／フェーダーを操作してDAWの設定と一致させてください。

DAWコントロールモード中のUSB音声の入出力

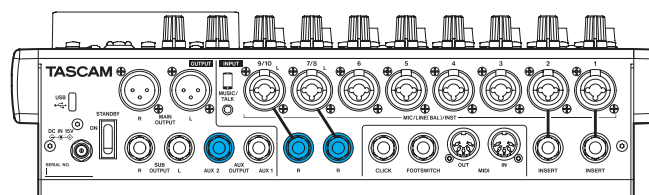
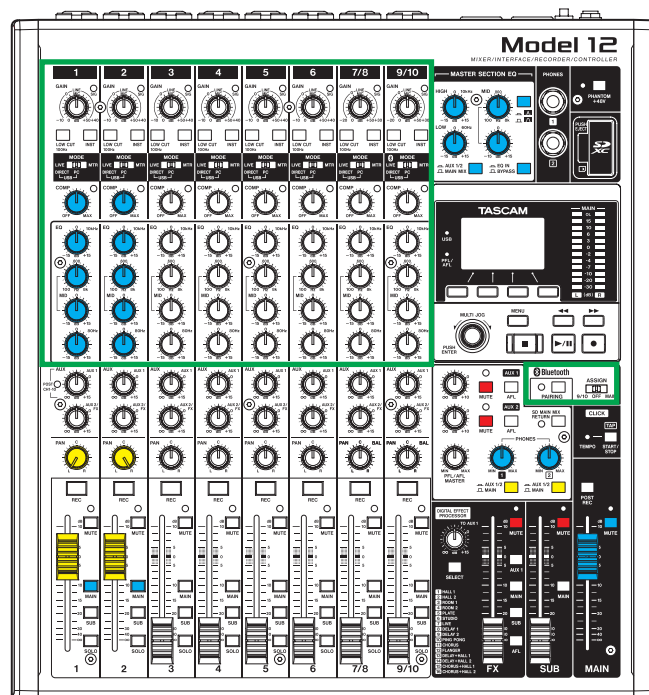
DAWコントロールモード中は、Model 12本体のチャンネル1-2に入力された音声のみ聴くことができます。

DAWのマスター音声の出力先をModel 12本体のチャンネル1-2に設定すると、Model 12本体で音声を確認しながらDAWの操作を行うことができます。

DAWコントロールモード中に操作可能なModel 12本体の操作子は、以下の通りです。

- 下図の緑枠内にあるつまみ/スイッチ/ボタンの操作が、パソコンへ送られる音声について有効
- 下図の青色で示したつまみ/スイッチ/フェーダーの操作が、パソコンからの音声について有効
- 下図の赤色で示したスイッチの操作に関わらず「オン」に固定
- 下図の黄色で示したつまみ/スイッチ/フェーダーの操作に関わらず、パソコンからの音声について下記の内容に固定

PANつまみ (1-2)	つまみの操作に関わらず、チャンネル1は「L」、チャンネル2は「R」に固定。
チャンネルフェーダー (1-2)	フェーダーの操作に関わらず、0dBに固定。
AUX 1/2 / MAINスイッチ	スイッチの操作に関わらず、「MAIN」に固定。



メモ

- DAWコントロールモードのまま電源を切ると、次回起動時もDAWコントロールモードで開始されます。
- 通常モードで使用する場合は、**F1 EXIT** ボタンでDAWコントロールモードを終了してください。

各種DAWアプリケーションの設定

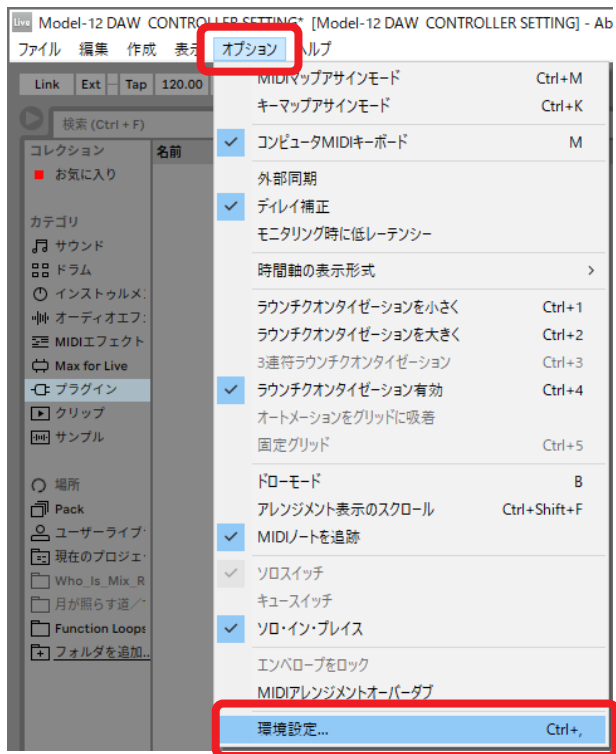
DAWアプリケーションからのメッセージを受信するために、先にModel 12本体をDAWコントロールモードにしてからDAWアプリケーションの設定をしてください。

Live

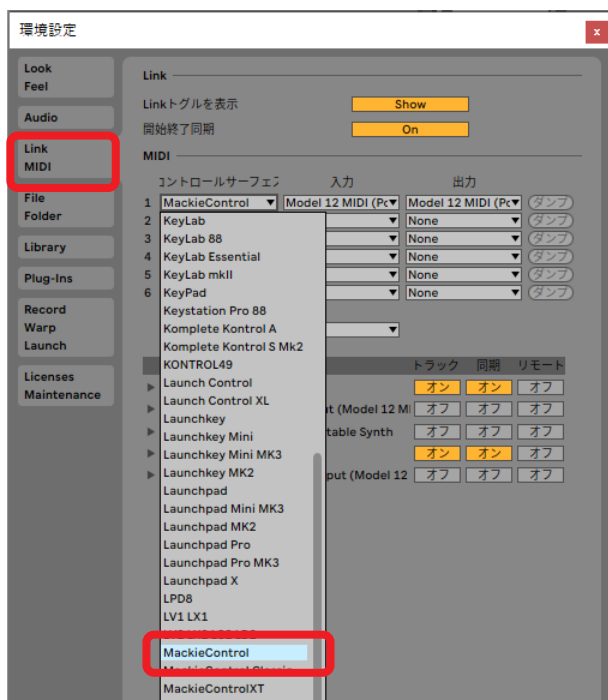
Windows

以下の画面は、Live バージョン10.1.6の画面です。

1. 「オプション」 → 「環境設定...」をクリックする。



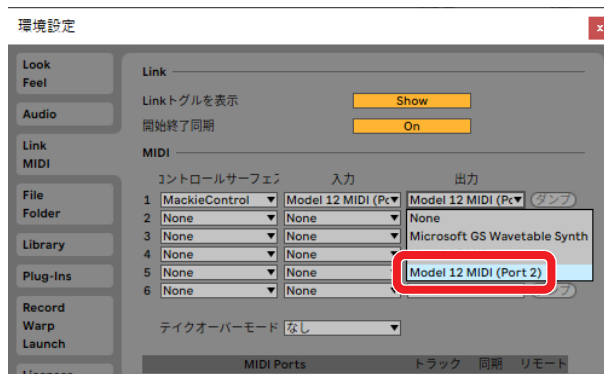
2. 「Link MIDI」タブを選択し、コントロールサーフェスに「MackieControl」を設定する。



3. 入力に「Model 12 MIDI (Port 2)」を設定する。



4. 出力に「Model 12 MIDI (Port 2)」を設定する。



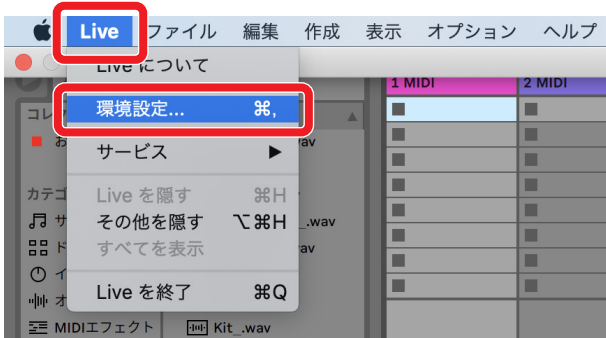
Model 12本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

各種DAWアプリケーションの設定

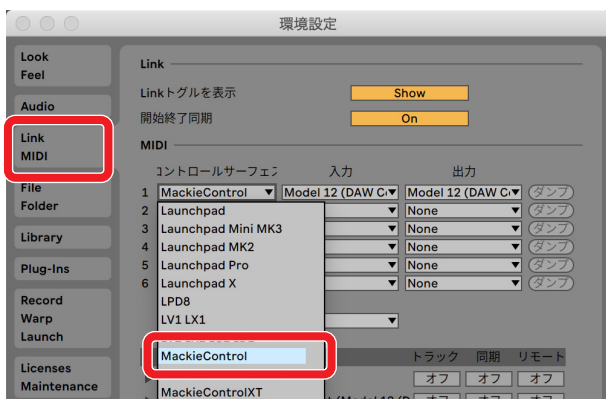
Mac

以下の画面は、Live バージョン10.1.7の画面です。

1. 「Live」 → 「環境設定...」をクリックする。



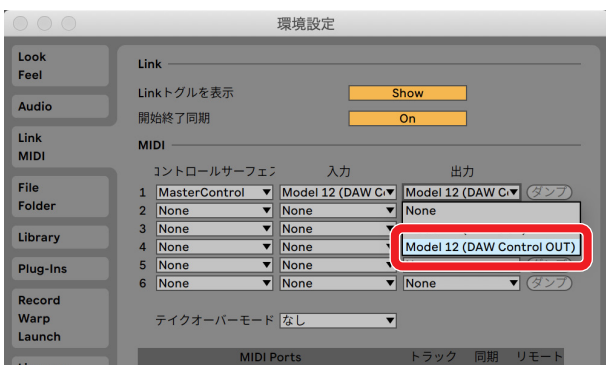
2. 「Link MIDI」タブを選択し、コントロールサーフェスに「MackieControl」を設定する。



3. 入りに「Model 12 (DAW Control IN)」を設定する。



4. 出力に「Model 12 (DAW Control OUT)」を設定する。



Model 12本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のModel 12本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

- F2 **SET** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F3 **<<** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F4 **>>** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F2 **CYCL** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F3 **<** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F4 **>** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- **<< / >>** ボタン
- **■** ボタン
- **▶ / ||** ボタン
- **●** ボタン
- PANつまみ (1-6、7/8-9/10)
- RECボタン (1-6、7/8-9/10)
- MUTEスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- SOLOスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- チャンネルフェーダー (1-6、7/8-9/10)
- FXフェーダー (マスターフェーダーに対応)

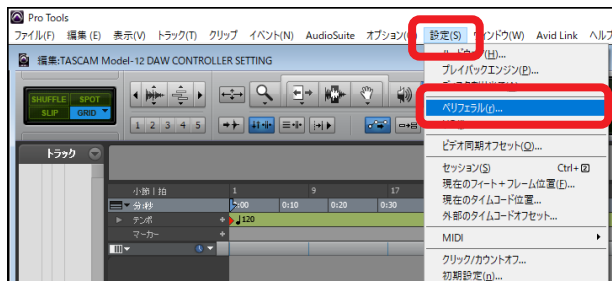
注意

DAWとの接続直後や、DAW側で各種設定を変更した場合、DAWの設定とModel 12本体のボタン/つまみ/フェーダーの状態や位置が一致しない状態となります。その場合はDAWの設定をModel 12本体の設定に合わせるか、Model 12本体のボタン/つまみ/フェーダーを操作してDAWの設定と一致させてください。

Pro Tools

以下の画面は、Pro Tools 12 Ultimate バージョン2019.12の画面です。

1. 「設定」 → 「ペリフェラル」をクリックする。



2. 「MIDIコントローラー」タブを選択し、タイプに「HUI」を設定する。



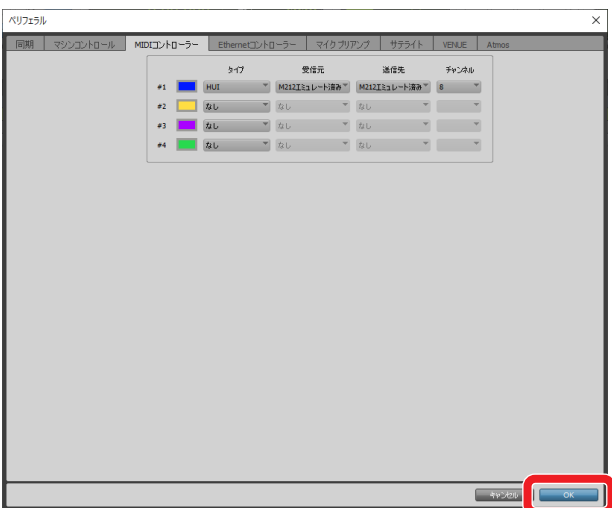
3. 受信元に「MIDIIN2 (Model 12 MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
Macの場合は、「Model 12 DAW Control IN」を設定します。



4. 送信先に「MIDIOUT2 (Model 12 MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
Macの場合は、「Model 12 DAW Control OUT」を設定します。



5. 「OK」をクリックする。



Model 12本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のModel 12本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

- F2 **SET** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F2 **CYCL** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F3 **←** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F4 **→** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- ◀ / ▶ ボタン
- ■ ボタン
- ▶ / || ボタン
- ● ボタン
- PANつまみ (1-6、7/8-9/10)
- RECボタン (1-6、7/8-9/10)
- MUTEスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- SOLOスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- チャンネルフェーダー (1-6、7/8-9/10)

注意

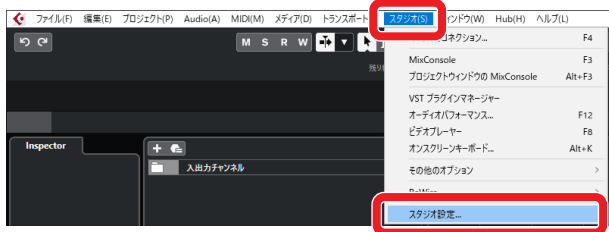
DAWとの接続直後や、DAW側で各種設定を変更した場合、DAWの設定とModel 12本体のボタン／つまみ／フェーダーの状態や位置が一致しない状態となります。その場合はDAWの設定をModel 12本体の設定に合わせるか、Model 12本体のボタン／つまみ／フェーダーを操作してDAWの設定と一致させてください。

各種DAWアプリケーションの設定

Cubase

以下の画面は、Cubase10.5の画面です。

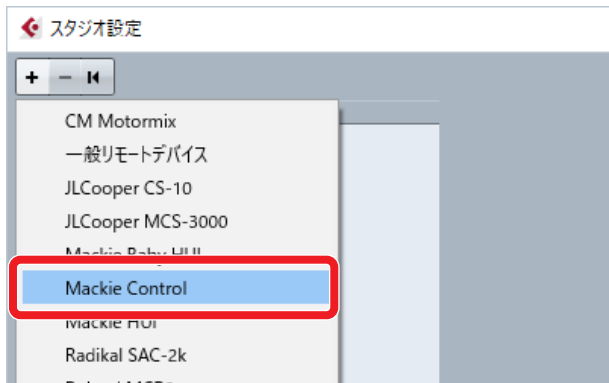
1. 「スタジオ」 → 「スタジオ設定」をクリックする。



2. リモートデバイスを選択し、ウィンドウの左上にある「+」をクリックする。



3. 「Mackie Control」を選択する。



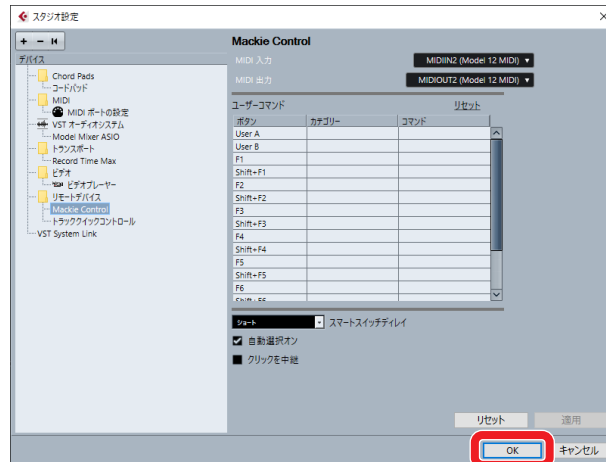
4. MIDI入力に「MIDIIN2 (Model 12 MIDI)」を設定する。
Macの場合は、「Model 12 DAW Control IN」を設定します。



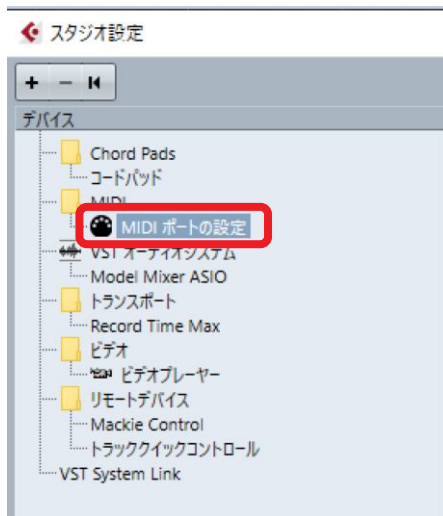
5. MIDI出力に「MIDIOUT2 (Model 12 MIDI)」を設定する。
Macの場合は、「Model 12 DAW Control OUT」を設定します。



6. 「OK」をクリックする。



7. 「スタジオ設定」に戻りMIDIポートの設定をクリックする。



8. MIDIIN2 (Model12 MIDI) のチェックボックスのチェックをオフにする。



9. 「OK」をクリックする。



Model 12本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。
Cubaseが入っているパソコンの環境によっては、Cubaseの再起動が必要になる場合もあります。

コントロールできる操作子

以下のModel 12本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

- **F2** **SET** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F3** **<<<** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F4** **>>>** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F2** **CVCL** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F3** **<** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F4** **>** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- **<<< / >>>** ボタン
- ■ ボタン
- **▶ / ||** ボタン
- ● ボタン
- PANつまみ (1-6、7/8-9/10)
- RECボタン (1-6、7/8-9/10)
- MUTEスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- SOLOスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- チャンネルフェーダー (1-6、7/8-9/10)
- FXフェーダー (マスターフェーダーに対応)

注意

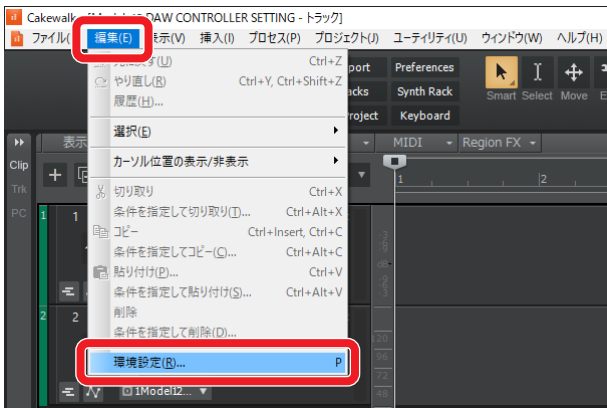
DAWとの接続直後や、DAW側で各種設定を変更した場合、DAWの設定とModel 12本体のボタン／つまみ／フェーダーの状態や位置が一致しない状態となります。その場合はDAWの設定をModel 12本体の設定に合わせるか、Model 12本体のボタン／つまみ／フェーダーを操作してDAWの設定と一致させてください。

各種DAWアプリケーションの設定

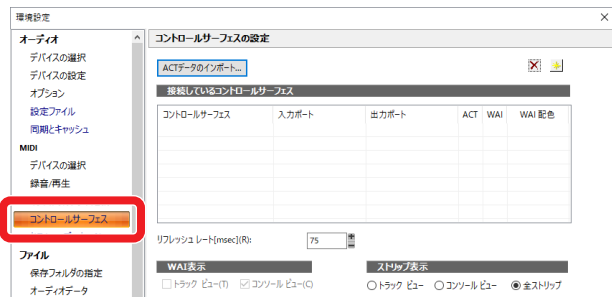
Cakewalk

以下の画面は、Cakewalk VERSION:2020.01 の画面です。

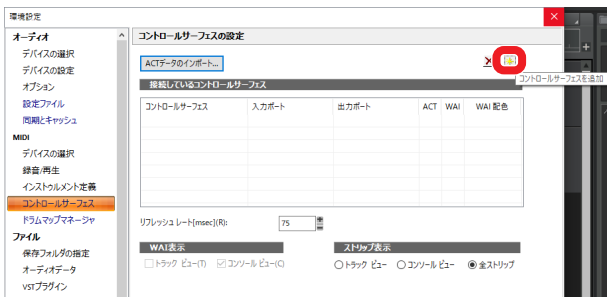
1. 「編集」 → 「環境選択」をクリックする。



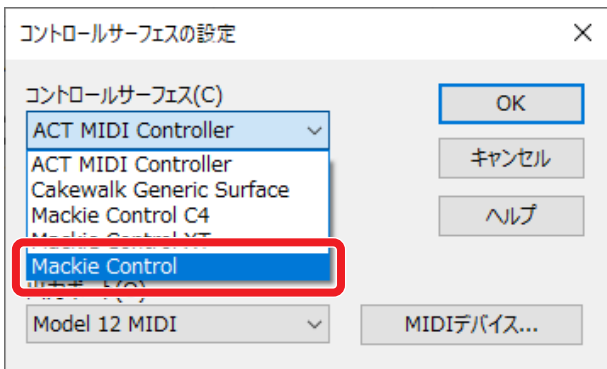
2. 「コントロールサーフェス」を選択する。



3. ウィンドウ右上の☆マークをクリックする。



4. コントロールサーフェスに「Mackie Control」を設定する。



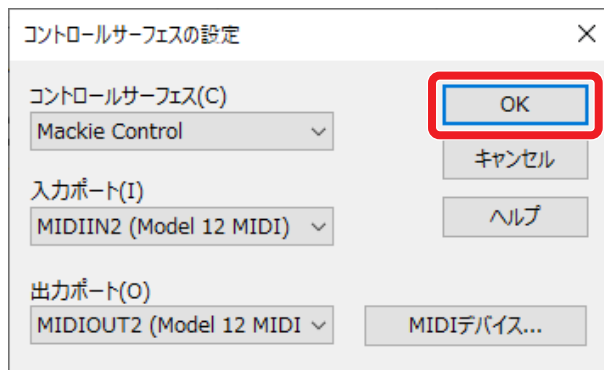
5. 入力ポートに「MIDIIN2 (Model 12 MIDI)」を設定する。



6. 出力ポートに「MIDIOUT2 (Model 12 MIDI)」を設定する。



7. 「OK」をクリックする。



Model 12本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のModel 12本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

- **F3** <<< ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F4** >>> ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F2** CYCL ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F3** < ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F4** > ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- << / >> ボタン
- ■ ボタン
- ▶ / || ボタン
- ● ボタン
- PANつまみ (1-6、7/8-9/10)
- RECボタン (1-6、7/8-9/10)
- MUTEスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- SOLOスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- チャンネルフェーダー (1-6、7/8-9/10)

注意

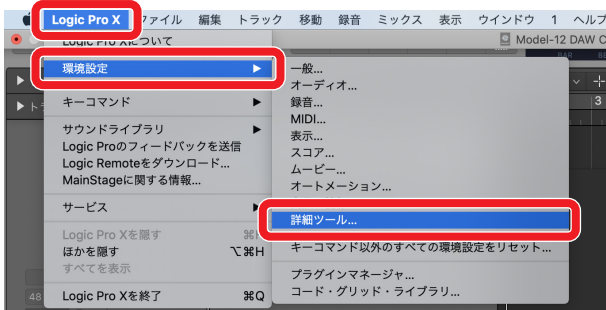
DAWとの接続直後や、DAW側で各種設定を変更した場合、DAWの設定とModel 12本体のボタン／つまみ／フェーダーの状態や位置が一致しない状態となります。その場合はDAWの設定をModel 12本体の設定に合わせるか、Model 12本体のボタン／つまみ／フェーダーを操作してDAWの設定と一致させてください。

各種DAWアプリケーションの設定

Logic Pro

以下の画面は、Logic Pro X バージョン 10.4.8の画面です。

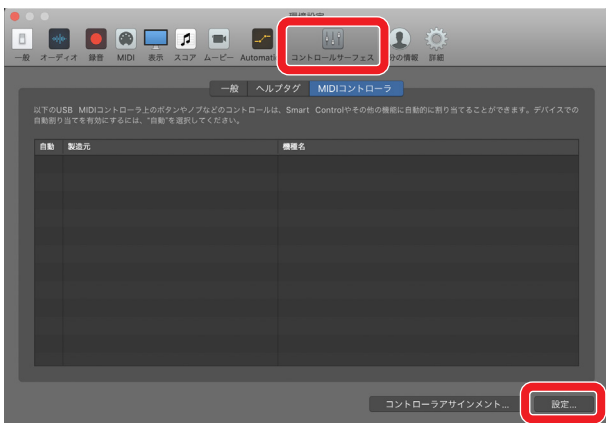
1. 「Logic Pro X」 → 「環境設定」 → 「詳細ツール」をクリックする。



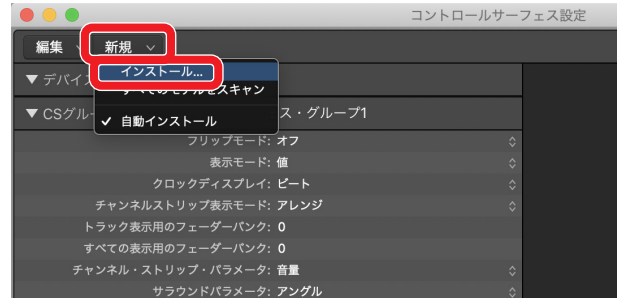
2. チェックボックスにすべてチェックを入れる。



3. 「コントロールサーフェス」タブを選択し、「設定」をクリックする。



4. 「新規」 → 「インストール」をクリックする。



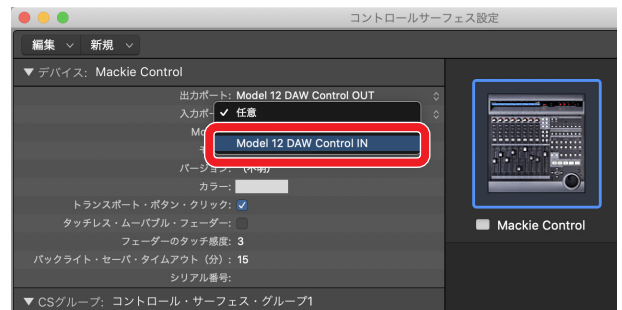
5. 「製造元: Mackie Designs / モデル: Mackie Control」を選択し、「追加」をクリックする。



6. デバイス: Mackie Control > の出力ポートに「Model 12 DAW Control OUT」を設定する。



7. デバイス: Mackie Control > の入力ポートに「Model 12 DAW Control IN」を設定する。



Model 12本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のModel 12本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

- **F2** **CYCL** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F3** **◀** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F4** **▶** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- **◀◀ / ▶▶** ボタン
- **■** ボタン
- **▶ / ||** ボタン
- **●** ボタン
- PANつまみ (1-6、7/8-9/10)
- RECボタン (1-6、7/8-9/10)
- MUTEスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- SOLOスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- チャンネルフェーダー (1-6、7/8-9/10)
- FXフェーダー (マスターフェーダーに対応)

注意

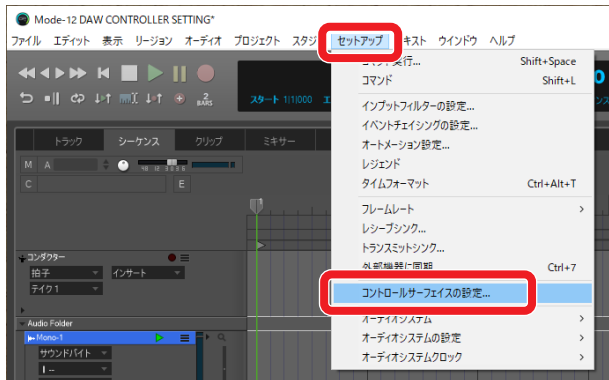
DAWとの接続直後や、DAW側で各種設定を変更した場合、DAWの設定とModel 12本体のボタン／つまみ／フェーダーの状態や位置が一致しない状態となります。その場合はDAWの設定をModel 12本体の設定に合わせるか、Model 12本体のボタン／つまみ／フェーダーを操作してDAWの設定と一致させてください。

各種DAWアプリケーションの設定

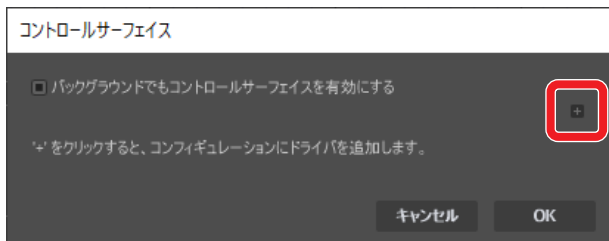
DP (Digital Performer)

以下の画面は、Digital Performer 10.1の画面です。

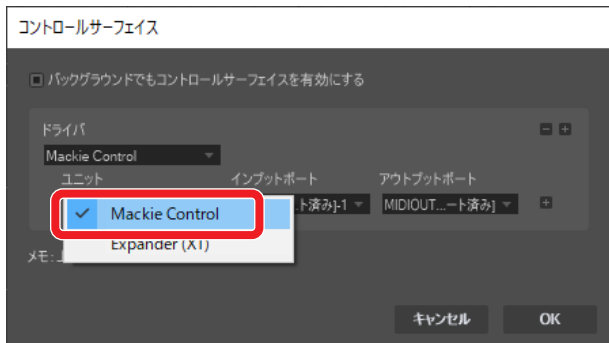
1. 「セットアップ」 → 「コントロールサーフェイスの設定」 をクリックする。



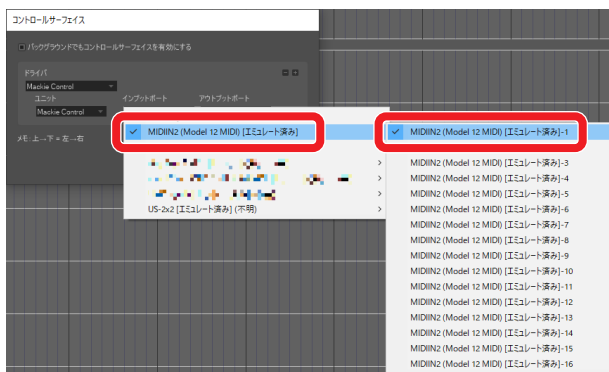
2. ウィンドウ右側にある「+」をクリックする。



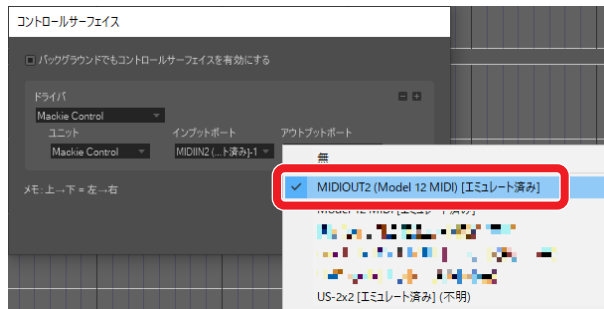
3. ユニットの「Mackie Control」を設定する。



4. インポートポートに「MIDIIN2 (Model 12 MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
Macの場合は、「Model 12 DAW Control IN」を設定します。



5. アウトポートポートに「MIDIOUT2 (Model 12 MIDI) [エミュレート済み]」設定する。
Macの場合は、「Model 12 DAW Control OUT」を設定します。



6. 「OK」をクリックする。



Model 12本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のModel 12本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

- F3 <<< ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F4 >>> ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F2 CYCL ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F3 <= ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F4 => ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- << / >> ボタン
- ■ ボタン
- ▶ / || ボタン
- ● ボタン
- RECボタン (1-6、7/8-9/10)
- MUTEスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- SOLOスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- チャンネルフェーダー (1-6、7/8-9/10)
- FXフェーダー (マスターフェーダーに対応)

注意

DAWとの接続直後や、DAW側で各種設定を変更した場合、DAWの設定とModel 12本体のボタン/つまみ/フェーダーの状態や位置が一致しない状態となります。その場合はDAWの設定をModel 12本体の設定に合わせるか、Model 12本体のボタン/つまみ/フェーダーを操作してDAWの設定と一致させてください。

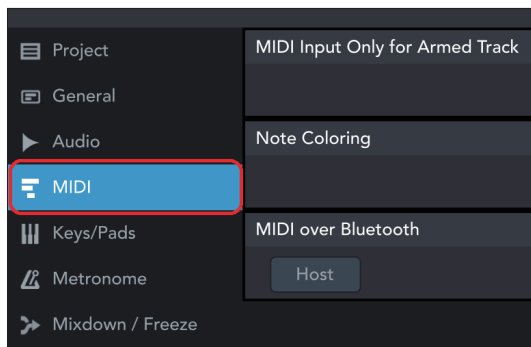
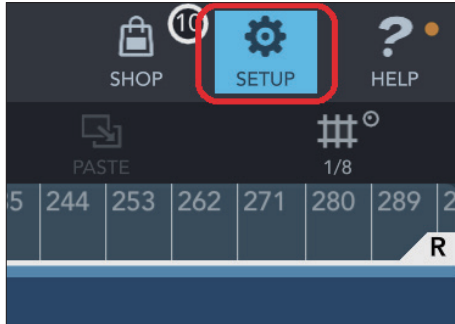
Cubasis

以下の画面は、Cubasis 3.3の画面です。

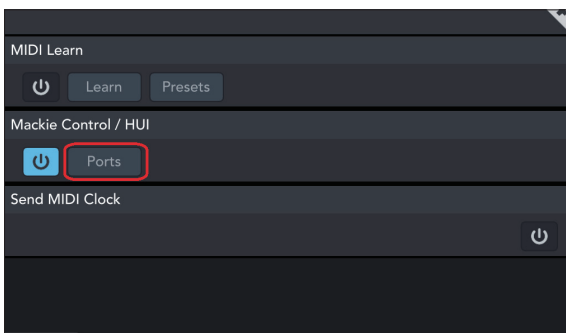
注意

Cubasis 3.3以降が対象です。

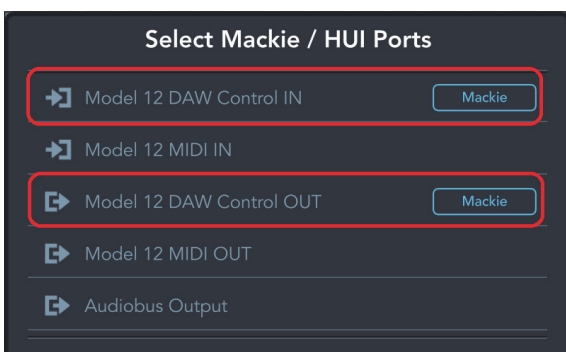
1. 「SETUP」 → 「MIDI」 を選ぶ。



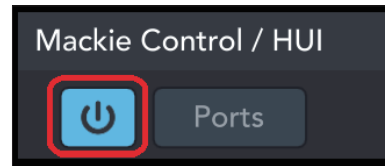
2. ウィンドウにある「Mackie Control/HUI」の「Ports」をクリックする。



3. Select Mackie / HUI Portsウィンドウで「Model 12 DAW Control IN」、 「Model 12 DAW Control OUT」 をそれぞれクリックして「Mackie」を設定する。



4. 赤枠内のアイコンを「ON」にしておく。



Model 12本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のModel 12本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

- F2 **CYCL** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F3 **←** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F4 **→** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- **◀ / ▶** ボタン
- **■** ボタン
- **▶ / ||** ボタン
- **●** ボタン
- PANつまみ (1-6、7/8-9/10)
- RECボタン (1-6、7/8-9/10)
- MUTEスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- SOLOスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- チャンネルフェーダー (1-6、7/8-9/10)
- FXフェーダー (マスターフェーダーに対応)

注意

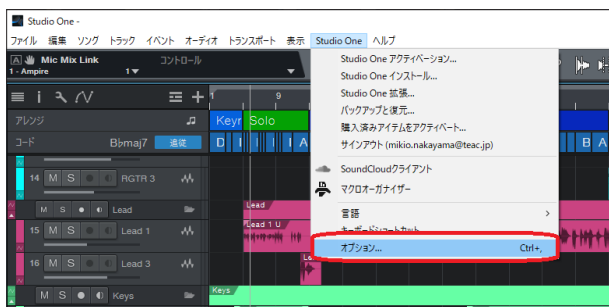
DAWとの接続直後や、DAW側で各種設定を変更した場合、DAWの設定とModel 12本体のボタン/つまみ/フェーダーの状態や位置が一致しない状態となります。その場合はDAWの設定をModel 12本体の設定に合わせるか、Model 12本体のボタン/つまみ/フェーダーを操作してDAWの設定と一致させてください。

各種DAWアプリケーションの設定

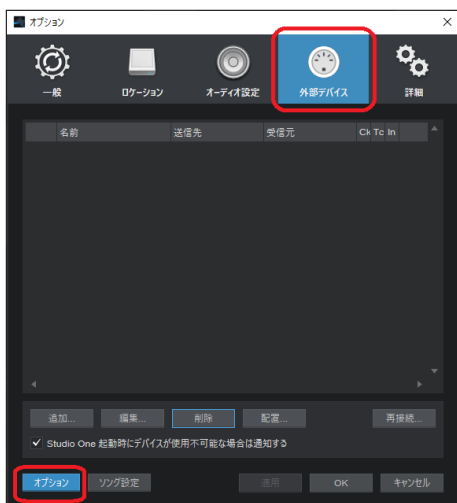
Studio One

以下の画面は、Studio One 5.2.1の画面です。

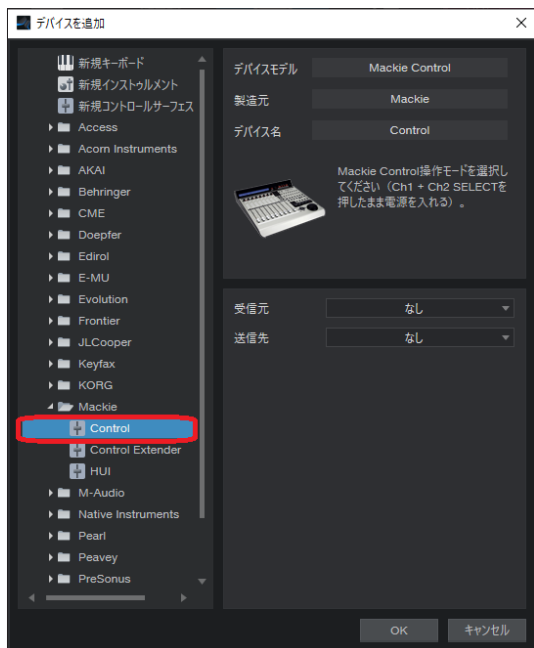
1. 「Studio One」 → 「オプション...」をクリックする。



2. ウィンドウ上部にある「外部デバイス」アイコンへ移動し、「オプション」をクリックする。



3. 「デバイスを追加」 → 「Mackie」 → 「Control」を開く。



4. 受信元に「MIDIIN2 (Model 12 MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。



メモ

Macの場合は、「Model 12 DAW Control IN」を設定します。

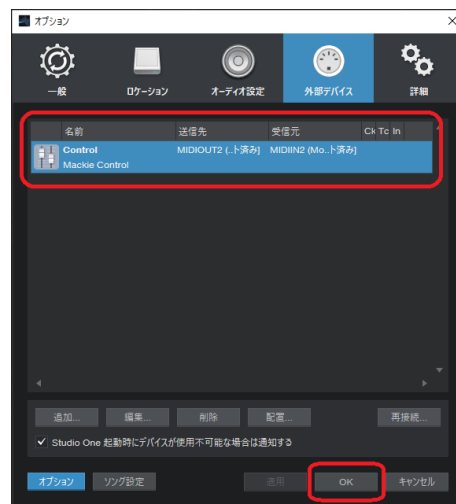
5. 送信先に「MIDIOUT2 (Model 12 MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。



メモ

Macの場合は、「Model 12 DAW Control OUT」を設定します。

6. 「OK」をクリックする。



Model 12本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のModel 12本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

- **F2** **SET** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F3** **<<** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F4** **>>** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F2** **CYCL** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F3** **←** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F4** **→** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- **◀ / ▶** ボタン
- **■** ボタン
- **▶ / ||** ボタン
- **●** ボタン
- PANつまみ (1-6、7/8-9/10)
- RECボタン (1-6、7/8-9/10)
- MUTEスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- SOLOスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- チャンネルフェーダー (1-6、7/8-9/10)
- FXフェーダー (マスターフェーダーに対応)

注意

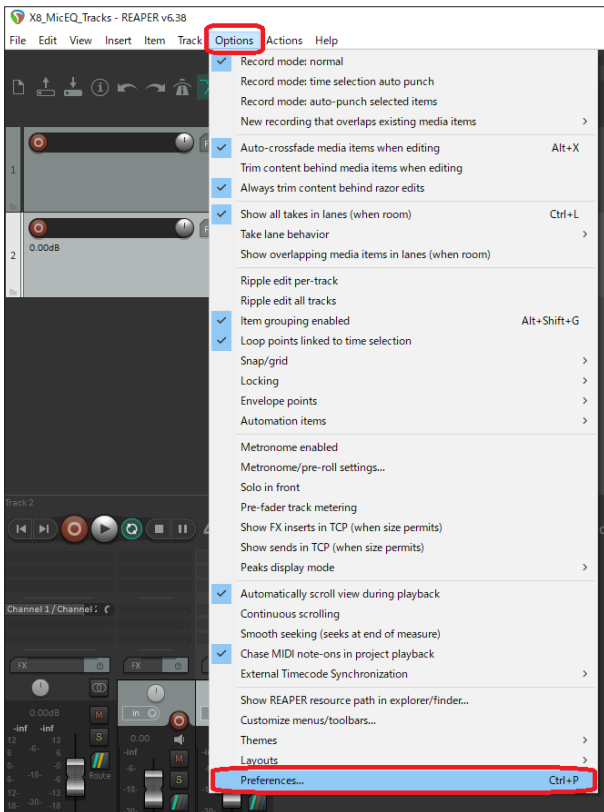
DAWとの接続直後や、DAW側で各種設定を変更した場合、DAWの設定とModel 12本体のボタン／つまみ／フェーダーの状態や位置が一致しない状態となります。その場合はDAWの設定をModel 12本体の設定に合わせるか、Model 12本体のボタン／つまみ／フェーダーを操作してDAWの設定と一致させてください。

各種DAWアプリケーションの設定

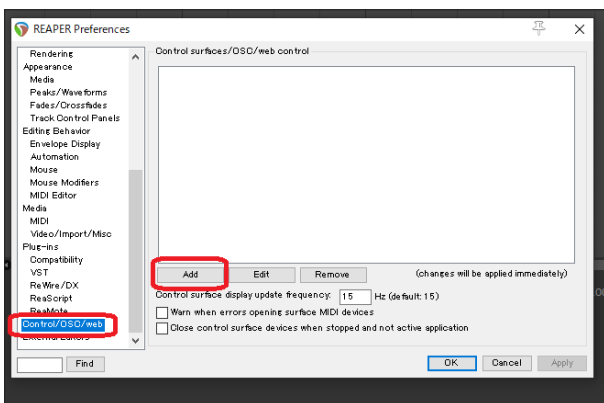
REAPER

以下の画面は、REAPER V6.38の画面です。

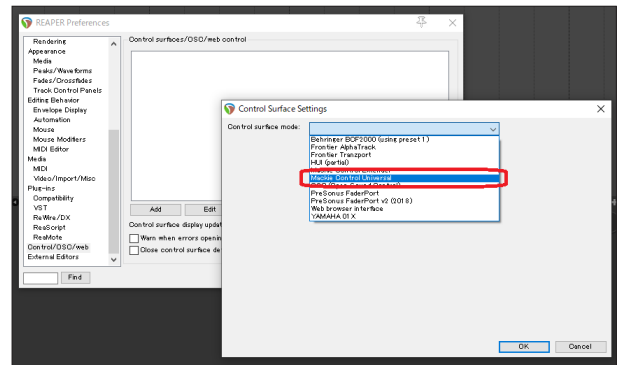
1. 「Options」 → 「Preferences...」 をクリックする。



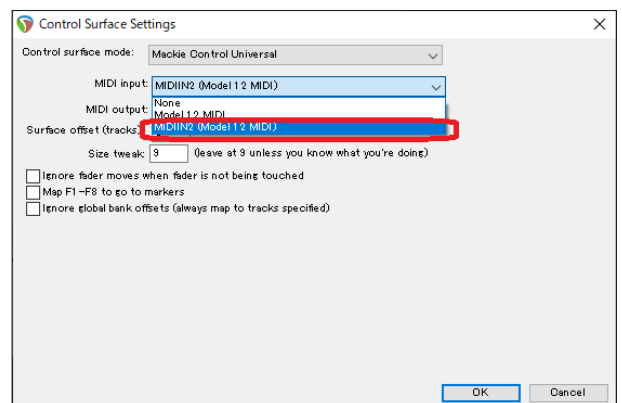
2. ウィンドウ下にある「Control/OSC/web」 → 「Add」をクリックする。



3. Control surface modeに「Mackie Control Universal」を選択しOKする。



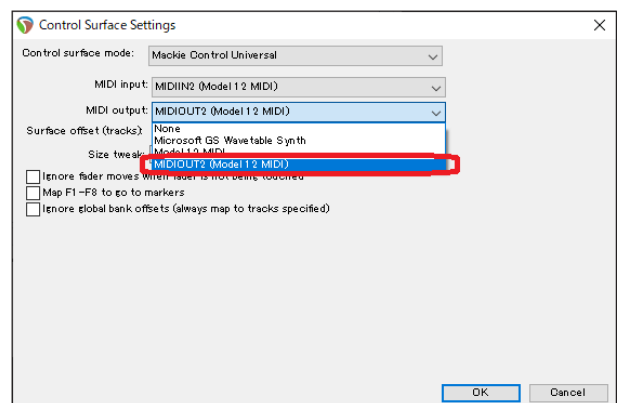
4. MIDIインプットに「MIDIIN2 (Model 12 MIDI)」を設定する。



メモ

Macの場合は、「Model 12 DAW Control IN」を設定します。

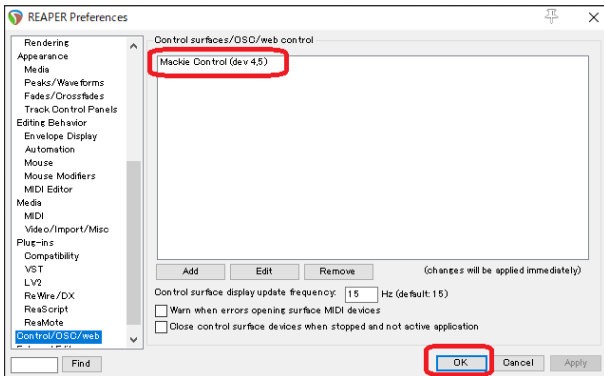
5. MIDIアウトに「MIDIOUT2 (Model 12 MIDI)」を設定する。



メモ

Macの場合は、「Model 12 DAW Control OUT」を設定します。

6. 「OK」をクリックする。



Model 12本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のModel 12本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

- **F2** **SET** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F3** **<<** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F4** **>>** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F2** **CYCL** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F3** **←** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F4** **⇒** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- **◀ / ▶** ボタン
- **■** ボタン
- **▶ / ||** ボタン
- **●** ボタン
- PANつまみ (1-6、7/8-9/10)
- RECボタン (1-6、7/8-9/10)
- MUTEスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- SOLOスイッチ (1-6、7/8-9/10)
- チャンネルフェーダー (1-6、7/8-9/10)
- FXフェーダー (マスターフェーダーに対応)

注意

DAWとの接続直後や、DAW側で各種設定を変更した場合、DAWの設定とModel 12本体のボタン／つまみ／フェーダーの状態や位置が一致しない状態となります。その場合はDAWの設定をModel 12本体の設定に合わせるか、Model 12本体のボタン／つまみ／フェーダーを操作してDAWの設定と一致させてください。

MIDIインプリメンテーションチャート

MIDIインプリメンテーションチャート DAW Controlポート

機能		送信	受信	備考
ベーシック・チャンネル	電源オン時	×	×	
	設定可能	×	×	
モード	電源オン時	×	×	
	メッセージ	×	×	
	代用	*****		
ノート・ナンバー	音域	○	○	HUI Mode : Active Sensing
	音域	○	○	Mackie Ctrl Mode : Key、LED
ベロシティ	ノート・オン	○	○	HUI Mode : Active Sensing
	ノート・オフ	×	×	
	ノート・オン	○	○	Mackie Ctrl Mode : Key、LED
	ノート・オフ	×	×	
アフター・タッチ	キー別	×	×	
	チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベント		○	×	Mackie Ctrl Mode : Fader
コントロール・チェンジ		○	○	HUI Mode : Fader、LED、Switch Ctrl、PAN
		○	○	Mackie Ctrl Mode : PAN、Encoder
プログラム・チェンジ		×	×	
	設定可能範囲#	*****	*****	
システム・エクスクルーシブ		○	○	Mackie Ctrl Mode
システム・コモン	ソング・ポジション	×	×	
	ソング・セレクト	×	×	
	クォーター・フレーム	×	×	
	チューン	×	×	
システム・リアルタイム	クロック	×	×	
	コマンド	×	×	
その他	ローカル・オン/オフ	×	×	
	オール・ノート・オフ	×	×	
	アクティブ・センス	×	×	
	リセット	×	×	

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～12:00 / 13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。